

# 韓国の年末年始あるある

イルミネーションが点灯され、クリスマスツリーが飾られた街中を見ながら時の速さを感じる今日この頃です。あっという間に年末年始シーズンになりました。韓国の年末年始は日本と似ている部分も、少し違う部分もあります。年越しそばは食べませんが、除夜の鐘を33回鳴らす韓国の年末年始について紹介します。

## #01 クリスマスは休みます

12月25日・クリスマスは韓国では祝日です。聖堂や協会ではクリスマスイブからミサ・礼拝などが行われ多くの人が集まります（統計庁によると、韓国人の約3割がキリスト教だそうです）。信者ではなくても、年末年始の雰囲気味わうためお出かけする人が多く、ソウル・明洞のような有名スポットは大混雑します。

※ちなみに、釈迦誕生日（旧暦4月8日）も祝日です。



▲ソウル広場（ソウル特別市役所前）

## #02 除夜の鐘がなります

12月31日になると、ソウル・鍾路の「普信閣」では除夜の鐘の打鐘行事が開催されます。0時になるとソウル市長と市民が選んだ市民代表らが除夜の鐘を33回鳴らします。韓国戦争が終わった1953年から始まった打鐘行事は毎年約10万人が集まる韓国の代表的な年明けイベントですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で初中止となり、オンラインで行われるそうです。



▲ソウルの鍾路・普信閣にある除夜の鐘

## #03 年末年始の休みは1月1日のみです

韓国の1月1日は「新正」といい、祝祭日に指定されています。「새해 복 많이 받으세요(セヘボンマニバドゥセヨ、直訳すると新年福をたくさん受け取ってくださいという意味)」と挨拶の言葉を交わします。年末年始の休みは新正当日のみになっているので、1月2日から普通に出勤するところが多いです。

※韓国は伝統的に旧暦の正月を盛大にお祝いし、3日間お休みです◎



▲日の出の名所である江原道の正東津

## #04 年が明けると年をとります

法律上では日本と同じく、誕生日を基準として年を数えますが日常生活では「数え年」が使われています。数え年とは、年が明けると一斉に1歳、年をとるという数え方のことです。1月1日になると韓国人は年をとるので、12月31日に生まれた子供は次の日に2歳になってしまいます（韓国は生まれたその日から1歳）。



▲1月1日、「1歳」が届きます◎



**作成者** 北九州市韓国国際交流員 姜 志守 (カン ジス)

姉妹都市である韓国・仁川広域市出身。北九州で4回目の冬を迎えていますが、この寒さにはまだ慣れません。最近はお1回、新しいお店を開拓することを目指しています☆